

明日をもっとおいしく

meiji

株主のみなさまへ

第6期 報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日



明治ホールディングス株式会社



明治ホールディングス株式会社
代表取締役会長 浅野 茂太郎



明治ホールディングス株式会社
代表取締役社長 松尾 正彦

株主のみなさまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、平成27年3月31日をもちまして、第6期事業年度を終了いたしましたので、ここに事業の概況等についてご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、政府・日銀による経済対策および金融政策を背景に、緩やかな景気回復基調で推移するとともに、雇用・所得環境においても改善の傾向が見られました。

一方、個人消費については、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、夏場の天候不順の影響などにより、回復への遅れが見られました。

こうした中、当社グループは、長期経営指針「明治グループ

食品から医薬品まで、 幅広い分野で貢献する ユニークな企業グループを目指して

2020ビジョン(以下「2020ビジョン」)実現に向けた第一ステップである2012-2014年度グループ中期経営計画「TAKE OFF 14」(以下「TAKE OFF 14」)の最終年度を迎え、重点テーマ「収益性向上と飛躍に向けた戦略投資」に基づき、「既存事業の強化・拡大」「成長事業の育成」「収益性の向上」の取り組みを引き続き進めました。

食品セグメントでは、原材料調達コストやエネルギーコストの大幅な上昇への対処を進めました。乳製品、菓子、健康栄養などの各事業で主力製品の販売拡大によるプロダクトミックスの改善に注力するとともに、事業構造改革と徹底したコストダウンにも取り組みました。

医薬品セグメントでは、「スペシャリティ&ジェネリック」戦略を推進する中、医療用医薬品の普及強化と併せて、国内外の生産拠点における原価低減にも取り組みました。

売上高

(単位：百万円)



経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



この結果、当期売上高は1兆1,611億52百万円(前期比1.1%増)、営業利益は515億43百万円(同41.2%増)、経常利益は535億82百万円(同37.1%増)、当期純利益は308億91百万円(同62.1%増)となりました。また、ROEは8.9%となりました。

なお、「TAKE OFF 14」策定時に掲げた当初目標の、売上高1兆1,900億円、営業利益400億円、ROE7%に対し、売上高については、食品セグメントの低採算事業の見直しなどにより目標達成とはなりませんでしたが、営業利益およびROE目標については、食品・医薬品の両セグメントにおける収益改善の取り組みが奏功し、目標を大幅に上回りました。

当社グループは、「2020ビジョン」の第二ステップとして、2015年度よりスタートする2015-2017年度グループ中期経営計画「STEP UP 17」(以下「STEP UP 17」)を策定しました。

「STEP UP 17」では、「成長の加速とさらなる収益性向上」を重点テーマとして、最終年度に売上高1兆2,600億円、営業利益640億円、ROE8%以上を目標として、取り組みを推進してまいります。

「STEP UP 17」の初年度となる2015年度(平成28年3月期)の連結業績予想は、売上高1兆1,940億円、営業利益520億円、経常利益523億円、親会社株主に帰属する当期純利益417億円としました。

食品セグメントでは、輸入原材料・資材価格の高騰や、国内生乳取引価格の引き上げによるコスト増に対し、一層のコストダウンと継続的な事業構造改革や適正な価格改定などに取り組んでまいります。

医薬品セグメントでは、「スペシャリティ&ジェネリック・ファルマ」として持続的な成長を図るため、重点領域におけるプレゼンスの向上や、国内外の生産拠点を活用したローコストオペレーションに一層取り組んでまいります。さらに、海外子会社の事業拡大を図ることでグローバルな展開も推進してまいります。

なお、当期の期末配当金は、「TAKE OFF 14」で掲げた最終年度の利益目標を大幅に上回ったことから、前期比20円増配の1株当たり60円とさせていただきます。この結果、年間配当金は中間配当金と合わせて1株当たり100円、連結配当性向23.8%となります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益

(単位：円)



明治グループ2017中期経営計画

STEP UP 17

明治グループは、平成29年度(2017年度)を最終年度とする中期経営計画「STEP UP 17」をスタートさせました。「明治グループ2020ビジョン」実現に向け、成長の加速とさらなる収益性向上を目指してまいります。

「STEP UP 17」の位置付け

前中期経営計画「TAKE OFF 14」においては収益性向上と飛躍に向けた戦略投資を進めてまいりました。新たに策定した「STEP UP 17」では、グローバル企業への進展を見据え、成長の加速とさらなる収益性向上を図ってまいります。



TAKE OFF 14

STEP UP 17

成長の加速と
さらなる収益性向上

グローバル企業
への進展

・既存事業の成長
・統合シナジー追求
・成長への体制整備

収益性向上と
飛躍に向けた
戦略投資

基本方針

成長の加速とさらなる収益性向上

1 優位事業の強化と新たな成長への挑戦

3 グローバル展開の推進

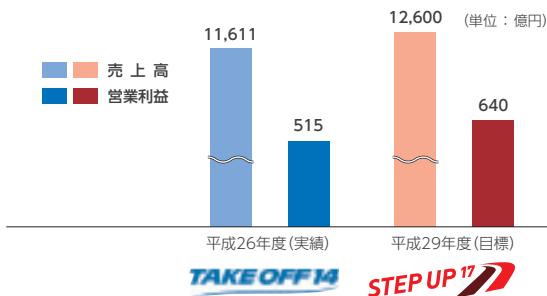
2 環境変化に対応しうる収益力の強化

4 経営基盤の進化

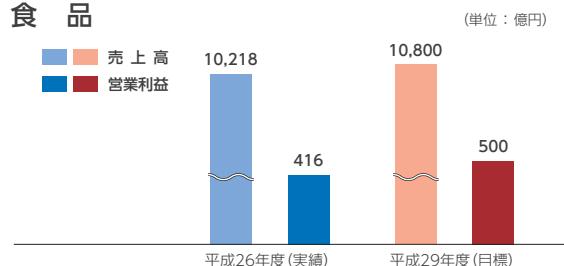
数値目標

連結

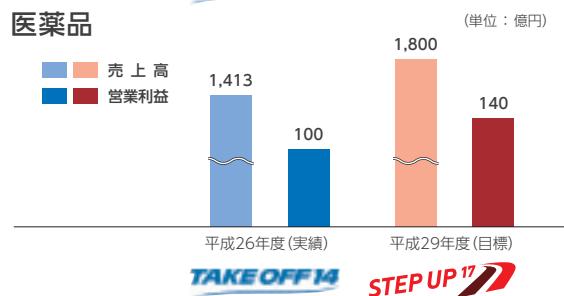
売上高	1兆2,600億円
営業利益	640億円
営業利益率	5%
ROE	8%以上



食品



医薬品



平成28年3月期からの配当金の決定に関する基本方針

当社は、食と健康、薬品を主な事業とし、お客さまの生涯を通じて身近な存在として事業展開しており、中・長期的に安定的な経営基盤の確保が不可欠であります。

将来の設備投資、投融資、研究開発投資等の資金需要に応えるため、内部留保の充実を図りながらグループの収益力強化と企業価値の向上に努めるとともに、株主のみなさまへの適切な利益還元についても経営における重要課題として認識し、連結配当性向30%を目安に、安定的継続的利益還元を行うことを基本方針とします。なお、非経営的な特殊要因により親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合は、その影響を除いて配当金額を決定することがあります。

食品セグメント（株式会社 明治）

売上高

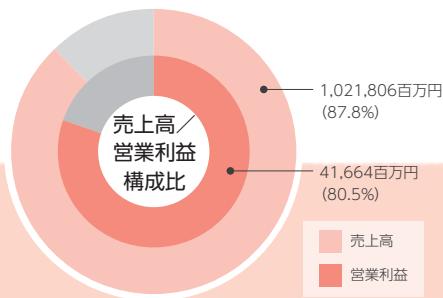
1兆218億円

（前期比：0.6%増）

営業利益

416億円

（前期比：47.8%増）



当セグメントでは、売上高は、全体では前期を上回りました。乳製品事業は、プロバイオティクス等の主力製品の売り上げが大幅に伸長しましたが、販売子会社の一部事業を整理した影響により前期並みとなりました。菓子事業は、チョコレートを中心とした売り上げ拡大が奏功し前期を上回りました。健康栄養事業は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が響き前期を下回りました。

営業利益は、乳製品・菓子・健康栄養の三事業が大幅増益となり、全体でも前期を大幅に上回りました。プロダクトミックスの改善と徹底したコストダウンが全体の収益改善に貢献しました。

事業別の売り上げ概況は次のとおりです。

乳製品事業

市乳 ヨーグルト、牛乳類、飲料等

- プロバイオティクスは、積極的なマーケティング活動や、平成26年7月発売の「明治プロビオヨーグルトR-1」ブランドの新商品が寄与し、前期を大幅に上回りました。
- 「明治ブルガリアヨーグルト」は、市場の競争激化の影響を受けて前期を下回りましたが、「明治ブルガリアのむヨーグルト」は、平成25年9月発売の新しいパッケージの利便性が好評を博し、売り上げが拡大しました。

- 牛乳類は、前期並みとなりましたが、「明治おいしい牛乳」は、需要喚起を目的とした積極的なコミュニケーション施策が奏功し、前期を上回りました。

加工食品 チーズ、バター、冷凍食品、業務用食品等

- 市販チーズは、「明治北海道十勝」シリーズのカマンベールや、平成26年3月にリニューアルを実施したスマートチーズなどが大きく伸長した結果、前期を大幅に上回りました。
- 市販マーガリンは、市場低迷の影響により前期を下回りました。



菓子事業

菓子 チョコレート、ガム、キャンデー等

- チョコレートは、カカオポリフェノールへの関心の高まりにより市場が拡大を続ける中、「チョコレート効果」シリーズなどのビター系チョコレートが大きく伸長、また、袋チョコレート群なども好調に推移した結果、前期を上回りました。
- ガムは、市場低迷の影響を受け、前期を下回りました。
- グミは、主力ブランドである「果汁グミ」が好調に推移する

中、その他ブランドも大幅に伸長した結果、前期を大幅に上回りました。

アイスクリーム アイスクリーム等

- アイスクリームは、夏場の天候不順の影響を受けたものの、全体では前期を上回りました。主力の「明治エッセルスーパーカップ」は、シーズンフレーバーの発売数の増加などにより好調に推移し、「明治チョコアイス」シリーズは、ラインアップ強化により前期を大幅に上回りました。



健康栄養事業

スポーツ栄養、健康機能、OTC、粉ミルク、流動食等

- スポーツ栄養では、「ヴァーム」が前期を大幅に下回り、「ザバス」も前期を下回りました。

- 健康機能では、コラーゲン市場が落ち込む中、「アミノコラーゲン」は前期並みとなりました。
- 粉ミルクは、前期を上回りました。
- 流動食は、前期を上回りました。平成26年8月に関西栄養食工場が稼働を開始し生産体制の強化を図る中、市販用は取り扱い店舗の拡大により前期を大幅に上回りました。



医薬品セグメント (Meiji Seika ファルマ株式会社)

売上高

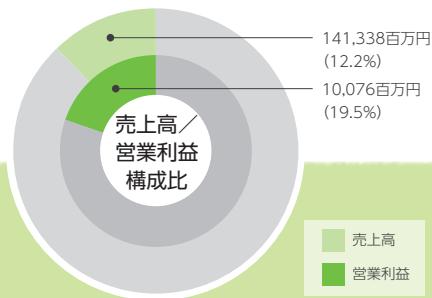
1,413億円

(前期比：4.6%増)

営業利益

100億円

(前期比：20.6%増)



当セグメントでは、売上高は、前期を上回りました。医療用医薬品事業は薬価改定の影響を大きく受けましたが、ジェネリック医薬品の伸長や平成26年12月に締結したF.ホフマン・ラ・ロシュ社とのライセンス契約による一時金収入が寄与し、前期を上回りました。生物産業事業は前期を大幅に下回りました。

営業利益は、ジェネリック医薬品の増収や国内外の生産拠点を活用した原価低減の取り組みに加え、ライセンス契約締結による一時金収入の寄与もあり、前期を大幅に上回りました。

事業別の売り上げ概況は次のとおりです。

医療用医薬品事業

国内

- 抗菌薬は、薬価改定の影響を大きく受けた「メイアクト」が前期を大幅に下回りました。
- 抗うつ薬は、「リフレックス」が消費税率引き上げによる駆け込み需要などの影響を受け前期を下回り、「デプロメール」は前期を大幅に下回りました。
- ジェネリック医薬品は、前期を大幅に上回りました。特に、カルシウム拮抗薬「アムロジピン錠『明治』」、アルツハイマー型認知症治療剤「ドネペジル『明治』」は大きく伸長しました。

海外

- 東南アジアでは、インドネシアやタイの事業が好調に推移しました。

- インドを生産拠点として医薬品の受託製造(CMO)・受託開発製造(CDMO)およびジェネリック医薬品の製造・販売を行っているメドライク社は、当第4四半期に連結子会社化したことにより、医療用医薬品事業の増収に寄与しました。

生物産業事業 (農薬・動物薬)

- 農薬は、茎葉処理除草剤「ザクサ液剤」が前期を大幅に上回りましたが、主力のいもち病防除剤「オリゼメート」が前期を大幅に下回り、全体では前期を大幅に下回りました。
- 動物薬は、家畜用薬およびコンパニオンアニマル用薬が前期を下回りました。



インドの製薬企業「メドライク」がグループに加わりました

平成27年2月12日、インドの製薬企業であるメドライク (Medreich Limited) が Meiji Seika ファルマ (株) の連結子会社となりました。

メドライクはインドを生産拠点とし、欧州の大手グローバル製薬企業などから委託された医薬品製剤の受託製造 (CMO)・受託開発製造 (CDMO) を中心に事業を展開するとともに、ジェネリック医薬品を製造し、インド国内や世界各国に向け輸出・販売しています。メドライクの加入により、Meiji Seika ファルマ (株) に新たな事業基盤が加わり、コスト競争力を有する生産インフラおよびアジア・新興国における販売網を獲得、将来的には日本向け医薬品製造での相乗効果も期待されます。

Meiji Seika ファルマ (株) は、国際展開力を有する「スペ

シャルティ&ジェネリック・ファルマ」として、医薬品事業の持続的成長を図るべく、アジア・新興国を中心とした海外事業の積極拡大に取り組んでいます。



式典での記念品授与の模様
(平成27年2月)

メドライク拠点図



※製剤・製造拠点はインドのみ (8工場)

インドを生産拠点として、医薬品製剤の受託製造 (CMO)・受託開発製造 (CDMO) をしています。また、ジェネリック医薬品を製造し、自社販売拠点を通じ、欧州、アジア、アフリカなど世界各国に向けて、グローバルに販売しています。

Medreich Limited



所在地 Medreich House, 12/8, S.A. Street, Maruthi Seva Nagar, Bangalore, Karnataka, India

事業内容 医薬品の製造輸出・販売

従業員数 2,780人

創業 1976年



食品事業における生産拠点を拡充しました

(株)明治では、成長が見込めるヨーグルトや流動食などの新工場に投資を行い、生産能力の強化を図りました。また、将来にわたる成長を考え、海外事業への投資も行いました。

東海地区の市乳基幹工場である 愛知工場が竣工しました

愛知県稲沢市に所在する愛知工場については、工場の老朽化および市乳事業の競争力・生産体制強化のため、同市内での移転・新設を進めておりましたが、平成27年3月に新工場が竣工しました。

新工場は、牛乳、ヨーグルト、乳飲料や宅配商品などを製造する東海地区の市乳基幹工場として位置づけております。

また、愛知県内5か所に点在していた常温・チルドの物流拠点を本工場および併設の物流センターに集約させ、物流の効率化を実現しています。



愛知工場のコンセプト

多様なラインアップ

生産性と生産能力の向上を図りながら、市場からの様々な要求にフレキシブルに対応しています。

品質管理

新しいモノづくりを追求し、独自性や顧客価値が高く、高品質で安全・安心な製品を提供しています。

環境配慮

原材料・水・エネルギー・設備などあらゆる資源を大切にしています。

地域密着

工場見学施設など地域社会に身近な存在であり続けます。

環境に配慮した
太陽光発電設備



工場見学施設

「明治なるほどファクトリー愛知」食と健康をテーマに体験型展示や演出に趣向を凝らし、食育体験プログラムなども用意しています。
(平成27年7月1日オープン予定)



関西栄養食工場が竣工し、流動食について 東西2拠点での生産を実現しました

大阪府貝塚市において、関西工場敷地内の3つ目の工場となる関西栄養食工場が、平成26年11月に竣工しました。

本工場の稼働により、流動食については、群馬栄養食工場(群馬県伊勢崎市)と本工場の、東西2拠点での生産が可能となりました。

これからも、質の高い商品を広くお届けできるよう、生産量の拡大と商品の供給体制の充実に取り組んでまいります。



関西栄養食工場外観

関西栄養食工場のココがすごい!!

● 無菌充填によるおいしさを重視した商品の製造

国内初

1. カップ容器では、国内で初めて無菌状態で流動食を充填しています。
2. ソフトパックタイプ商品では、内容物を超高温で短時間滅菌した後、充填機内で容器を成型しながら無菌状態で充填する方法を新たに採用しました。

● 制震技術を取り入れた原料・製品倉庫



カップ容器ライン



中国のアイスクリーム事業会社 「明治雪糕(広州)有限公司」が事業を開始しました

広東省広州市に設立したアイスクリーム事業会社「明治雪糕(広州)有限公司」は、新設工場にて平成27年1月より生産を開始し、華南地域を中心に販売を展開しております。

同社での取り扱い商品は、和風アイスやチョコレートアイス、フルーツを使ったカップアイスなどであり、今後、商品ラインアップの充実・販売エリアの拡大を実現し、平成32年には年間売上高5億元(約100億円)を目指します。

(雪糕:中国語でアイスクリームの意味。読み方はシュエガオ)



工場外観



明治プロビオヨーグルトPA-3

お客さまの健康な毎日を願い、日々研究を重ねる、明治独自の乳酸菌研究の中で、プリン体への可能性に着目して選び抜いた“プリン体と戦う乳酸菌”PA-3乳酸菌を使用したヨーグルトです。



アミノコラーゲンヨーグルト

「アミノコラーゲン」に配合されているフィッシュコラーゲンとおなかの健康に役立つLB81乳酸菌を組み合わせた、脂肪ゼロタイプの“おなかからおいしく潤う”ヨーグルトです。



明治北海道十勝フレッシュ100

お菓子にも料理にも使いやすい乳脂肪分40%とし、明治独自の製法「ミルクの深み濃縮製法」によって乳本来のおいしさを引き出しました。容器も、利便性と衛生面にこだわった新容器を採用しました。



明治コーンソフトハーフ



「明治コーンソフト」は自然由来の希少なコーン油にこだわりの、おいしさを追求したスプレッドです。新発売の「明治コーンソフトハーフ」はカロリーが気になるご家庭向けに、カロリー・脂肪分を1/2カットしました。

- ・明治北海道十勝贅沢スライス3wayタイプ うまみ濃厚チェダーブレンド7枚入り
- ・明治北海道十勝贅沢スライス3wayタイプ かおり濃厚パルメザンブレンド7枚入り



熟成されたチーズ本来の濃厚なうまみが味わえる、大人向けのちょっと贅沢なスライスチーズです。「パンにのせて焼く」、「焼かずにはさむ」といった従来の使い方に加え、そのままおつまみとしても楽しめる3wayタイプ。

デイリーリッチ各種



「毎日のちょっとした贅沢を」をキーワードに具材感のある本格的な品質をチルド流通でお届けします。ファミリーユースの調理ソース、パーソナルユースのカレー・パスタ・スープとバラエティ豊かな12品で展開します。

※写真はチキンの完熟トマト煮です。

デザート・ピッツァ ショコラ&ドライフルーツ

フチ付きのもちもち生地にオレンジピール、ドライクランベリー、カリカリアーモンド、チョコレートをトッピング。大人のティータイムや、お酒と一緒に楽しんでもらえるピッツァに仕上がりました。



meiji GOLD LINE アーモンドチョコ&バニラ<スティック>

上質なバニラアイスとチョコレートに、アーモンドの香ばしいおいしさを載せた本格アーモンドチョコレートアイスクリームバーです。1本で芳醇なカカオの風味とナッツの深い味わいを堪能できます。



明治北海道あずき練乳氷

□当たりのやわらかな和風氷に北海道産粒あずきをたっぷり載せ、さらに濃厚な練乳ソースをかけた高品質かき氷です。大人が満足できる本格和風氷のおいしさを味わえます。



贅沢カカオのマーブル

従来の当社マーブルチョコレートに比べ、カカオマスを増使用したしっかりとしたチョコ感に加え、1粒のサイズを大きくすることで、カカオの味わいを十分に楽しめる仕立てとしました。また、小さなキューブ型のパッケージと淡いパステルカラーにすることで、大人のライフスタイルに溶け込むデザインとしました。



トロットチョコバナナ

外側はサクッと焼き上げたチョコレート、中はとろ〜りとした濃厚な味わいのクリームで、2重の食感が人気の焼きショコラです。

香ばしいチョコレートとバナナクリームの組み合わせが絶妙な、夏らしい味わいです。



ザバスプロリカバリープロテイン 14食分/34食分 ※スポーツ経路限定品

運動で酷使したカラダに欠かせない糖質とたんぱく質を理想のバランスで配合。エネルギー補給にマルトデキストリン、リカバリー時の栄養補給にホエイプロテイン100%を使用し、運動後の素早い回復を助けます。



果汁グミ おいしく鉄分プルーンミックス

成人女性注目の成分である鉄分を6粒(標準19.2g)で4mg、手軽に補うことができます。さわやかなプルーンの味わいをベースに、酸味のあるアセロラ、まるやかな甘さの青りんごをミックスしたプルーンミックス果汁100(生果汁換算比)の果汁グミです。



こんがり焼けたたけのこの里いちご

チョコを焼き上げた香ばしい味わいで、夏でも手にとけないたけのこの里が、おいしくなって新登場です。ココアクッキーとのバランスがよい、香りゆたかないちご味です。



GOCHIさわやかソーダ味



満足感たっぷり「大粒弾力ザラメグミ」です。すっきりおいしく楽しめる、甘酸っぱく爽快感のある味わいと、メタリックカラーでスタイリッシュ&さわやかなパッケージが夏気分を盛り上げます。

パーフェクトプラス 即攻元気ゼリー ・アサイーベリー ・しじみ1000個分量のオルニチン



女性に嬉しい、ヒアルロン酸・鉄分・食物繊維を配合したアサイーベリー、しじみ1000個分量のアミノ酸オルニチンと肝臓エキス配合のレモン風味、2つの新フレーバーが登場。

明治やわらか食コシヒカリのおかゆ

おいしさにこだわり、風味豊かな国産コシヒカリを使用したやわらかいお食事を召し上がる方用のおかゆです。ペタつきを抑え食べやすく仕上げました。高齢者に不足しがちな亜鉛を2.2mg配合しています。



レボフロキサシ錠「明治」

「レボフロキサシ錠『明治』」はジェネリック医薬品のニューキノロン系抗菌剤です。呼吸器感染症や泌尿器感染症など、広い範囲の感染症の治療に使用されます。同剤の500mg錠は、飲みやすさに配慮し錠剤を小さくしました。



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (平成26年3月31日現在)	当期 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,577	22,489
受取手形及び売掛金	163,135	172,762
商品及び製品	80,215	82,799
仕掛品	2,505	4,022
原材料及び貯蔵品	38,941	43,228
繰延税金資産	11,474	10,290
その他	13,510	16,737
貸倒引当金	△288	△311
流動資産合計	329,071	352,018
固定資産		
有形固定資産	325,644	353,044
無形固定資産	8,167	31,711
投資その他の資産	116,578	140,593
固定資産合計	450,390	525,349
資産合計	779,461	877,367
負債の部		
流動負債	261,466	298,575
固定負債	189,872	198,489
負債合計	451,339	497,065
純資産の部		
株主資本	318,358	342,442
その他の包括利益累計額	2,089	27,898
少数株主持分	7,674	9,961
純資産合計	328,121	380,302
負債純資産合計	779,461	877,367

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,148,076	1,161,152
売上原価	754,013	757,766
売上総利益	394,062	403,386
販売費及び一般管理費	357,565	351,842
営業利益	36,496	51,543
営業外収益	7,103	7,019
営業外費用	4,511	4,980
経常利益	39,089	53,582
特別利益	1,589	2,821
特別損失	6,991	7,747
税金等調整前当期純利益	33,687	48,657
法人税等	14,694	17,184
少数株主損益調整前当期純利益	18,992	31,473
少数株主利益又は損失(△)	△67	582
当期純利益	19,060	30,891

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前期 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	当期 (自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,847	86,487
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,293	△92,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,194	6,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	790	668
現金及び現金同等物の増減額	△850	1,179
現金及び現金同等物の期首残高	16,564	19,238
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	3,524	1,494
現金及び現金同等物の期末残高	19,238	21,912

会社概要／株式の状況

(平成27年3月31日現在)

会社概要

商号	明治ホールディングス株式会社 (英文名:Meiji Holdings Co., Ltd.)
事業内容	菓子、牛乳、乳製品、薬品の製造、販売等を行う 子会社等の経営管理およびそれに付帯または関連する事業
本社所在地	東京都中央区京橋二丁目4番16号
代表取締役社長	松尾 正彦
設立	平成21年(2009年)4月1日
資本金	300億円

役員紹介 (平成27年6月26日現在)

代表取締役会長	浅野 茂太郎	兼	Meiji Seika ファルマ(株)	取締役
代表取締役社長	松尾 正彦	兼	(株)明治	取締役
		兼	Meiji Seika ファルマ(株)	取締役
取締役専務執行役員	平原 高志			
取締役常務執行役員	左座 理郎			
取締役執行役員	塩崎 浩一郎			
取締役執行役員	古田 純			
取締役執行役員	岩下 秀市			
取締役	川村 和夫	兼	(株)明治	代表取締役社長
取締役	小林 大吉郎	兼	Meiji Seika ファルマ(株)	代表取締役社長
取締役(社外)	矢嶋 英敏			
取締役(社外)	佐貫 葉子			
監査役(常勤)	佐藤 秀明			
監査役(常勤)	田子 博士			
監査役(社外)	山口 健一			
監査役(社外)	渡邊 肇			

株主さまへのご優待

1.対象となる株主さま

毎年3月31日現在の明治ホールディングス株式100株以上ご所有の株主さま

2.ご優待の内容

ご所有株式数に応じて、明治グループ製品詰合せを毎年10月末頃にお届けいたします。

ご所有株式数	ご優待内容
100株以上	2,000円相当
300株以上	3,500円相当
500株以上	5,000円相当



3,500円相当の優待品の例です。
(実際の優待品と異なる場合があります。)

*株主さまのご意志により、優待品のご送付に代えて同等品を福祉団体等へご寄贈いただくことも選択できる株主優待品寄贈選択制度も取っております。

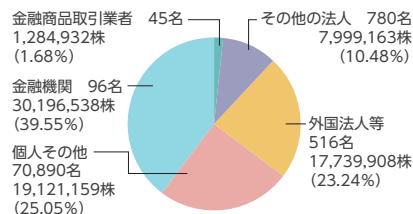
株式の状況

発行可能株式総数
280,000,000株

発行済株式の総数
76,341,700株

株主数
72,327名

所有者別



大株主

(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,495	5.89
株式会社みずび銀行	3,633	4.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,022	3.96
日本生命保険相互会社	1,674	2.19
明治ホールディングス従業員持株会	1,530	2.00
株式会社りそな銀行	1,523	2.00
農林中央金庫	1,446	1.89
明治ホールディングス取引先持株会	1,405	1.84
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,002	1.31
日本甜菜製糖株式会社	879	1.15

(注)上記の他に、当社が2,722千株(持株比率3.57%)保有しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 ※別途定める場合は、予め公告します。
定時株主総会	6月下旬
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.meiji.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。なお、会社法第440条第4項の規定により、決算公告は行いません。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-7111(フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。



おすすめレシピ

キムチ&チーズの冷やし茶漬け

市販の鶏ガラスープの素を溶かしたスープを冷たいごはんにかけて(市販のお茶漬けの素でもOK)、キムチ・塩もみきゅうり・わかめとスマートチーズをのせるだけの、さっぱり冷製茶漬け。

きゅうりのビタミンCやわかめの食物繊維も同時に摂れるので、美容にも“おいしい”一品です。

〈材料〉(1人分)

明治北海道十勝スマートチーズ…… 1個
冷やごはん…… 1人分(170g)
キムチ…… 20g
きゅうり…… 1/4本
塩…… 少々
塩蔵わかめ…… 適量(4g)
鶏ガラスープ…… 150ml

作り方

- 1 市販の鶏ガラスープの素を表示の分量の水で溶かし、冷蔵庫で冷やしておく。
- 2 きゅうりは薄切りにし、塩少々でもんで水気をしぼる。十勝スマートチーズは手でちぎる。キムチは食べやすい大きさに切る。わかめは水でもどして1.5cm幅に切る。
- 3 器に冷やごはんを入れ、1を注ぎ、2をのせる。



使用するチーズ

明治北海道十勝
スマートチーズ
うまみ濃厚チェダーブレンド

ワンポイント アドバイス

ごはんも鶏ガラスープも冷やしておくのがポイント。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(相殺)しています。